

日本赤十字九州国際看護大学

第 19 回国際シンポジウム

性の多様性「LGBTQ+」に理解のある社会へ

～医療現場での対応を考える～



近年、国内外を問わず教育や医療、雇用の分野で「多様性」や「ダイバーシティー」と言った言葉が度々用いられるようになりました。その中でも「セクシュアル・マイノリティー」や「LGBT」という言葉はメディアやネットを通じて社会的認知が高まってきています。しかしその意味を正しく理解している人はどのくらいいるのでしょうか？今回、第 19 回国際シンポジウムは、「性の多様性『LGBTQ+』に理解のある社会へ ～医療現場での対応を考える～」というテーマで開催します。将来、医療従事者として働く私たちには必須と言っても過言ではない大切な知識です。ぜひ医療従事者の立場から物事を見直す機会を作りませんか？お気軽にお越しください！

プログラム

13:00～13:20 開会式

13:20～14:15 学生発表

「多様な性を理解する～医療機関における理解と対応について～」

14:15～14:25 休憩

14:25～15:10 講演者の講話

「日本の医療機関における『LGBTQ+』の当事者と家族の近年の事例に対する実際の対応」

15:10～16:00 ディスカッション

「医療現場での対応を考える」

16:00～16:10 閉会式

Date: 2019年 9 月 30 日(月)

13:00～16:10 (受付開始 12:30～)

Place: 日本赤十字九州国際看護大学

講義室 101 (講義研究棟 1 階)

Address: 福岡県宗像市アスティ1-1 TEL 0940-35-7001 (大学代表)

Access: 赤間駅南口と天神日銀前から

日赤看護大学前のバスが運行しています。

講演者の紹介

鈴木はな様: 横浜生まれ。東洋英和女学院大学在学中、アイスホッケークラブチームに所属。卒業後は、海外生活サポートのベンチャー企業等を経て、約 10 年間都内の介護会社に勤務。管理部の責任者として経営企画、人事、総務、IR 等を担当。JASDAQ 上場後、取締役就任。退職後は、長期療養型病院にて事務長業務兼カウンセラーとして勤務。2015 年に株式会社ランドホーを設立。起業は手段、夢中になれる仕事を生涯楽しむことを大切にしている。